

2023年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

| | |
|--|--|
| 授業科目名：経営哲学特論 | |
| 担当教員名：藤井 一弘 | |
| <p>授業科目概要：</p> <p>授業科目名にある「経営哲学」は、かなり多様な意味で使用される言葉である。経営者が経営にあたる時の独特のポリシーという意味で用いられることもあれば、経営を研究する際の方法論をめぐる思索であったりする。ここでは「哲学」を「既成観念を徹底的に問い直すこと」と捉えて、「経営哲学」を「経営」に関わる既成の考えを懐疑しつつ、「経営」そのものの姿を浮かび上がらせることと考えている。授業では、バーナード著の『経営者の役割』を題材にして、彼が、どのように「経営」そのものの姿を浮かび上がらせようとしたかについて検討しながら、受講者各人が各人の「経営哲学研究」をなしうるための素養を身に付けていけるようにしたい。</p> | |
| <p>履修上の留意事項：</p> <p>「授業科目概要」に記したように、自ら思索をこらすことが最重要である。したがって、教材を消化するのみならず、自ら考え、積極的に授業内での議論に参加すること。</p> | |
| 教科書・参考書（参考文献）最上段左が教科書、その他は適宜、参照されたい。 | |
| <p>書名：経営者の役割 著者／編者：バーナード著、山本・田杉・飯野訳 出版社：ダイヤモンド社 出版年：1968年</p> | <p>書名：バーナード経営学の展開 著者／編者：庭本佳和 出版社：文眞堂 出版年：2006年</p> |
| <p>書名：経営哲学研究序説 著者／編者：小笠原英司 出版社：文眞堂 出版年：2004年</p> | <p>書名：管理の哲学 著者／編者：村田晴夫 出版社：文眞堂 出版年：1984年</p> |
| <p>書名：経営学研究方法論 著者／編者：山本安次郎 出版社：丸善 出版年：1975年</p> | <p>書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：</p> |
| <p>評価方法及び判定基準：</p> <p>次項に記すような形で進める授業への参加の程度と、学期末に提出を求めるレポートの内容によって総合的に評価する。</p> | |
| <p>授業目標及び進め方：</p> <p>履修者各自が、みずから「経営」を哲学する（経営に関わる既成観念を徹底的に問い直し、「経営」そのものを明らかにする）ことができるようになるのが、最終的な目標である。それに近づくために、担当教員による講義とともに、教科書を履修者各自に分担して報告してもらい、その報告を巡ってディスカッションし、担当教員がコメントする、という形で進める。その中から、各自の「経営哲学」を構想してもらいたい。</p> | |

| | |
|------|---|
| 第1回 | <p>テーマ：「経営哲学」の概観</p> <p>内 容：「経営哲学」のおおよそのイメージを把握する。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第2回 | <p>テーマ：「経営哲学」のための予備的考察（1）</p> <p>内 容：「経営」を「哲学」する前提となる「哲学」の概略を示す。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第3回 | <p>テーマ：「経営哲学」のための予備的考察（2）</p> <p>内 容：前回の継続（哲学における認識論の位置づけ）。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第4回 | <p>テーマ：「経営哲学」のための予備的考察（3）</p> <p>内 容：前回の継続（哲学における存在論の位置づけ）。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第5回 | <p>テーマ：「経営哲学」のための予備的考察（4）</p> <p>内 容：前回の継続（哲学における倫理学の位置づけ）。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第6回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの人間観</p> <p>内 容：「経営」を考察する前提となる「人間観」を見る。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第1・2章</p> |
| 第7回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの協働観</p> <p>内 容：「協働」として把握される「経営体」の姿を明らかにする。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第3・4・5章</p> |
| 第8回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの組織観（1）</p> <p>内 容：「経営体」を「経営」する場としての「組織」について考える。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第6・7章</p> |
| 第9回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの組織観（2）</p> <p>内 容：前回のテーマの継続。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第8・9章</p> |
| 第10回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの管理（経営）観（1）</p> <p>内 容：「組織」を機能させる「経営」を明らかにする。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第10・11・12章</p> |
| 第11回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの管理（経営）観（2）</p> <p>内 容：前回のテーマの継続。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第13・14章</p> |
| 第12回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの管理（経営）観（3）</p> <p>内 容：前回のテーマの継続。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第15・16章</p> |
| 第13回 | <p>テーマ：『経営者の役割』に見るバーナードの管理（経営）観（4）</p> <p>内 容：前回のテーマの継続。</p> <p>教科書／参考書：バーナード著 第17・18章</p> |
| 第14回 | <p>テーマ：「経営」の今日の問題</p> <p>内 容：特に、多様化する価値観への「経営」の取り組みについて考える。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |
| 第15回 | <p>テーマ：「経営哲学」への諸々のアプローチ</p> <p>内 容：現在の「経営哲学」研究の諸々の動向についてふれる。</p> <p>教科書／参考書：ノート講義</p> |